

# ユニオンファンド 月次レポート

第 103 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2017年6月9日作成

## MONTHLY TOPIC

## 500 倍になったアマゾン株。惜しかった？ 怖かった？

皆様もよくご存知のアマゾンですが、株式の新規公開（※1）から 20 年で株価は約 490 倍、年平均 36% という素晴らしいパフォーマンスを上げました（※2）。そのためか、公開してちょうど 20 年になる 5 月 15 日の前後には、様々な記事が紙面ににぎわしました。

※1 その株式が初めて市場で取引されるようになること ※2 終値比較。株式分割の影響を調整し配当を含む

### すさまじい株価の上げ下げ

上昇率には目を見張るものがありますが、途中の株価変動はまさに目がくらむほどです。

- ・1日に6%下落したケースは199回、3日間で15%下げたケースは107回
- ・年間で20%を超えて下落したのは20年のうち16年
- ・2008年には64%、1999年12月から2001年10月には95%の値下がり  
(5月15日付けウォール・ストリート・ジャーナル電子版より)

株価の大幅下落に恐れをなし、途中で売ってしまった人はさぞ多かったことでしょう。中には損して売った人もいたに違いありません。

### 専門家でも困難だったアマゾンへの投資

今では誰もが知る企業ですが、公開当時は多くの人にとってなじみのない企業だったはず。当初は売上も大きくなく、長く赤字続きでもありました。「投資の神様」と呼ばれることのあるウォーレン・バフェット氏も、この株を買いそなた一人です。

バフェット氏は、優れた企業の株を安く買い、長く持ち続けるという、実にシンプルな方法で大富豪になった著名な投資家ですが、創業者であるベゾフ氏のすばらしさを過小評価したため買えなかったと悔やんだそうです。

### 私たちにできる方法でやればいい

アマゾン株は大きく値上がりしましたが、このように価格変動は非常に大きく、また最初から将来性を見極めることはとても困難でした。ただ、アマゾンの株価がここまで上がったのは、業績が拡大したからです。程度の差はあれ、他の株式であってもこの理屈は共通。ユニオンファンドの投資の考え方もまた同じです。

ユニオンファンドが組み入れているファンドの運用会社は、世界各地の状況や企業に精通したアナリストが綿密な調査を行い、より良い企業、株価が割安な企業を選び抜くよう最善を尽くしています。アマゾン株は買いそなたのもの、それでも資産を増やし続けているバフェット氏と同じように、長い目線でじっくりと企業に投資すれば成果を上げられるはず。今後もそのために組入ファンドの運用各社とともに全力を傾けていきます。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2017年5月31日現在)

## 基準価額

23,642 円

## 純資産総額

52 億 48 百万円

## 期間別騰落率(%)

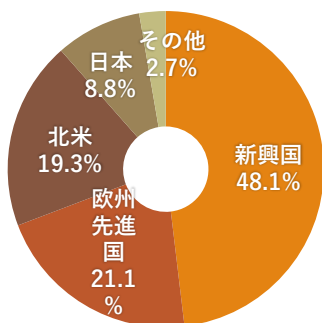
1 ヶ月	2.55%
6 ヶ月	11.81%
1 年	20.71%
3 年	23.23%
5 年	102.57%
設定来	136.42%

## 複利年率(%)

10.50%

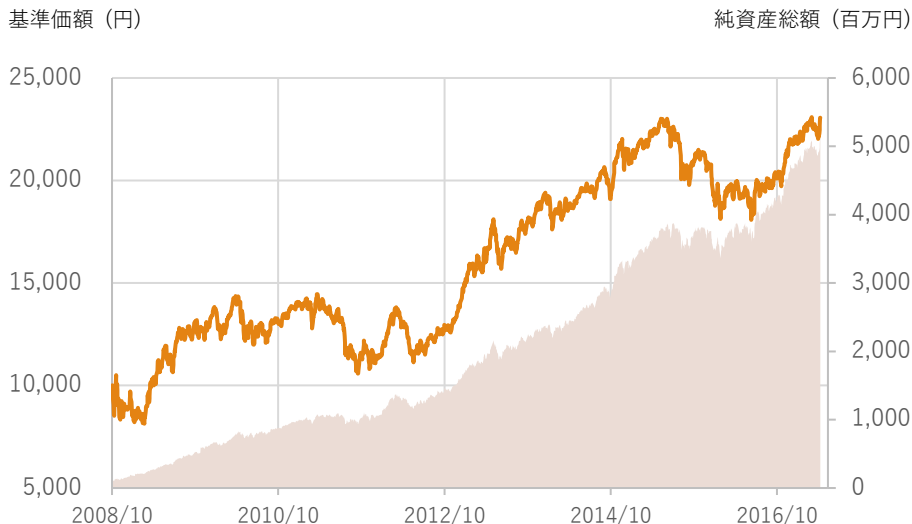
\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2017年4月30日現在)

## 基準価額と純資産総額の推移



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	年間騰落率(%) ※
さわかみファンド	日本	6.9%	1.0%
キャピタルファンド	欧米	14.2%	2.8%
ハリスファンド	欧米	21.7%	1.2%
コムジェストファンド	新興国	38.8%	5.0%
現金等	-	18.3%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2017年5月の市場動向と運用状況

### 投資環境と基準価額の推移

4月下旬に行われたフランス大統領選の1回目の投票で中道派のマクロン候補が1位となり、市場に安心感が広がった流れを受け継ぎ、5月も世界の株式市場は堅調に始まりました。7日に行われた決選投票も事前予想どおり、マクロン氏が極右のルペン候補を破って次期大統領に当選しました。これにより、欧州の政治を巡る警戒感は一層に後退し、株価は一段高となりました。

中旬には米国のトランプ大統領がFBI長官を突如解任したことで、市場は一時動揺しました。トランプ氏とその周辺は、かねてよりロシアとのつながりに疑いがもたれていましたが、その捜査を指揮していたFBI長官の解任は疑惑をかえって深める結果となりました。米国では司法妨害が強く嫌悪されると言われています。今回の大統領の対応は、1970年代に米国を揺るがせたウォーターゲート事件を連想させるものです。大統領の弾劾という話が持ち上がるほど一気に波紋が広がり、前向きな政策論議の支障となることが懸念されたわけです。

もっとも、影響は短期間でとれあえずおさまリ、株価は上昇に転じました。当時と今とでは経済状況が全く異なるためと考えられます。ウォーターゲート事件の発生からニクソン大統領辞任に至るまでの2年余りの間、確かに米国株価は概ね下落傾向をたどりました。しかし、それは事件の影響というよりも、物価の急上昇、金融引き締め、景気悪化といった、株価にとってマイナスの経済環境によるものです。現在は、世界的に景気拡大と企業業績の好調が続いており、それが株価堅調の背景にありますから、政治的混乱の見え方は似ていても市場の反応が異なるのはごく自然なことと考えています。

ユニオンファンドに組み入れている4本のファンドはすべて値上がりしました。コムジェストFは、ブラジルのテメル大統領に汚職隠ぺい疑惑が持ち上がり、ブラジルの株価と通貨が一時急落したにもかかわらず、銘柄選択が功を奏し、逆に値上がりしました。なお、コムジェスト社からは、当面ブラジルは政情不安が続く見通しではあるものの、経済状況は改善しており、組入銘柄の業績見通しにも変化はない、との報告を受けています。

### 運用の状況

5月は買い付けを見送りました。月末時点の組入比率は81.7%で、4月末とほぼ同水準を維持しています。

### 今後の見通しと運用方針

世界経済は引き続き拡大傾向にあります。米国では利上げの可能性が高まっていますが、景気（特に雇用情勢と物価）の動向を注視しながらということになると思われます。欧州では英仏の議会選挙が予定されていますが、仮に多少の番狂わせがあったとしても、良好な景気動向が市場の支えになると予想しています。新興国については、商品市況の軟調や中国の景気の天井感などから、市場全体がややもたつく可能性もありそうですが、組入銘柄の業績を悪化させるほどではないと見ています。

こうしたことから、当面は現状を維持しつつ、相場の下落場面があれば買い増しを進める方針です。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



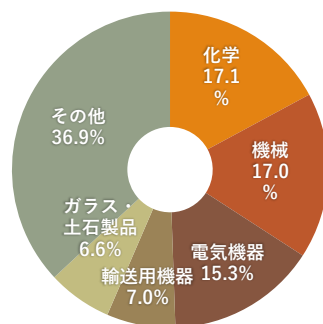
国別構成比



組入銘柄トップ 10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 プリチソン	4.7%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
2 日本電産	3.8%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
3 花王	3.7%	日本	化学	トイレタリー首位
4 ダイキン工業	3.3%	日本	機械	Aコン世界首位
5 信越化学工業	2.9%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
6 TOTO	2.8%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器首位
7 浜松ホトニクス	2.7%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 国際石油開発帝石	2.5%	日本	鉱業	石油メジャー
9 トヨタ自動車	2.4%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 テルモ	2.3%	日本	精密機器	医療機器 (カーテル)
上位 10 銘柄	31.0%		現金等	12.5%

業種別構成比



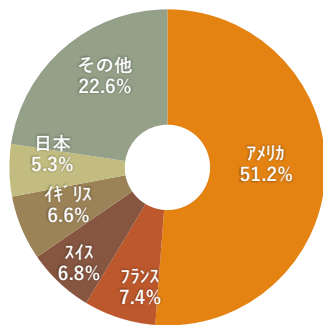
※ 業種：東証 33 業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2017 年 5 月末現在>

# キャピタル F (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラス Z)

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



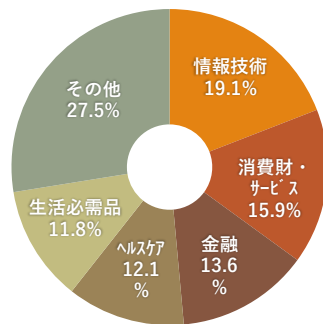
国別構成比



組入銘柄トップ 10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Microsoft	2.4%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
2 Incyte	2.3%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バイオ
3 Alphabet	2.3%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
4 ASML	2.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
5 TSMC	2.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
6 Visa	2.1%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
7 AIA	1.7%	香港	金融	生保・金融サービス
8 Amazon	1.7%	アメリカ	一般消費財	EC サイト、ウェブサービス
9 CME	1.6%	アメリカ	金融	先物等の国際的取引所
10 Priceline	1.6%	アメリカ	一般消費財	旅行オンラインサービス
上位 10 銘柄	20.0%		現金等	6.3%

業種別構成比

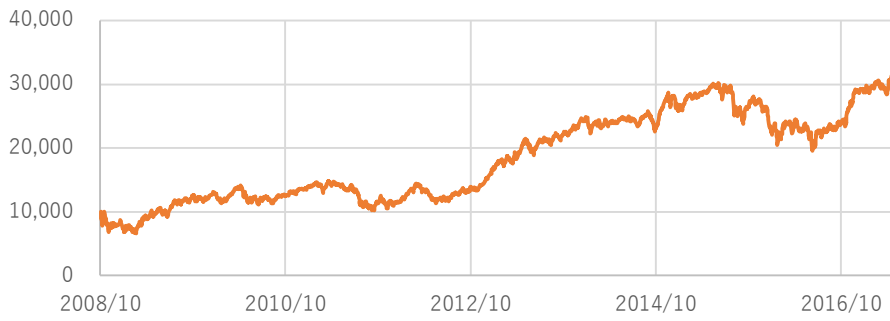


※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2017 年 4 月末現在>

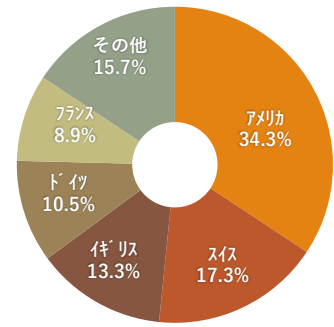
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# ハリス F (ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007)

基準価額(分配金込み)の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



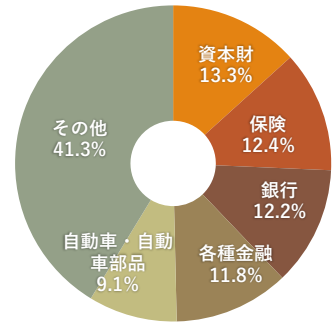
国別構成比 (マザーファンド)



組入銘柄トップ 10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 CNH INDUSTRIAL	5.3%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
2 GLENCORE	5.1%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
3 CREDIT SUISSE	5.1%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
4 DAIMLER	5.1%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
5 ALLIANZ	4.8%	ドイツ	保険	総合保険大手
6 BNP PARIBAS	4.7%	フランス	銀行	フランス大手銀行
7 JULIUS BAER	3.5%	スイス	各種金融	プライベートバンク
8 GENERAL MOTORS	3.5%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角
9 GRUPO TELEVISIA	3.2%	メキシコ	メディア	放送局
10 CITIGROUP	3.0%	アメリカ	銀行	金融大手
上位 10 銘柄	43.5%		現金等	5.0%

業種別構成比 (マザーファンド)



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率

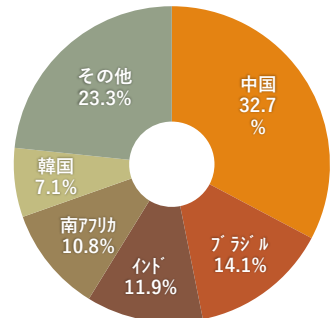
<2017 年 4 月末現在>

# コムジェスト F (ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA)

基準価額の推移 <ユニオンファンドの設定日を 10,000 として表示>



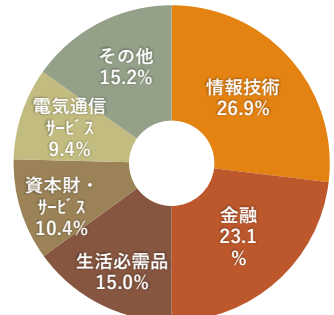
国別構成比 (マザーファンド)



組入銘柄トップ 10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	5.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 CHINA LIFE	4.7%	中国	金融	生保国内最大手
3 NETEASE ADR	4.2%	中国	情報技術	オンラインゲーム
4 POWER GRID OF INDIA	3.7%	インド	公益事業	電力関連 (送電網)
5 SAMSUNG LIFE	3.7%	韓国	金融	生保
6 MTN	3.5%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話
7 INFOSYS ADR	3.2%	インド	情報技術	IT ソフト総合サービス
8 BB SEGURIDADE	3.1%	ブラジル	金融	保険大手
9 PING AN INSURANCE	2.9%	中国	金融	保険大手
10 INNER MONGOLIA YILI	2.9%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
上位 10 銘柄	37.0%		現金等	1.8%

業種別構成比 (マザーファンド)



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率

<2017 年 5 月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### 「プライバシーポリシー」の改定について

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、弊社の「プライバシーポリシー（個人情報保護宣言）」を2017年5月30日に改定いたしました。

主な改定箇所は「個人情報の利用目的」への「個人情報の主な取得元」、「外部委託している業務」の追記、法令およびガイドラインに則した「機微（センシティブ）情報」の定義の変更などです。

改定後の「プライバシーポリシー」につきましては、弊社ホームページ（<http://www.unionam.co.jp/>）に掲載しております。

### 残高情報、評価金額等のご確認について

お客様が保有されている「ユニオンファンド」の残高、評価金額等は、弊社業務管理部へのお電話でのお問い合わせ、またはお取引の都度お送りしております「取引報告書」にてご確認ください。

#### 【お電話でご確認いただく場合】

弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までご連絡ください。（営業時間：平日9:00～17:00）

直近の保有残高口数、投資金額、取得単価、評価金額をご確認いただけます。

※ ご連絡の際に、お客様ご本人様であることの確認をさせていただきます。

#### 【「取引報告書」でご確認いただく場合】

報告書内の「取引後残高」項目をご確認ください。

“約定日現在”における保有残高口数、評価金額等が表示されています。

「取引後残高」・・・ユニオンファンドの保有残高口数（取引後）

「取得単価」・・・お客様の取得単価の平均値（取引前・取引後）

「投資元本」・・・お客様の損益のもととなる金額（投資されている元本金額／取引後）

「評価金額」・・・取引後残高の約定日現在の評価金額

（「評価金額」＝「取引後残高」×「約定日の基準価額※」÷10,000）

※「約定日の基準価額」は報告書内「取引明細」項目にあります「1万口当たりの単価」です。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 金** 信託財産留保金はありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.864%（税抜き 年 0.8%）の率を乗じて得た額です。  
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。  
[\*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（概算）]  
\*『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めた率です。  
目安であり、組入状況により変動します。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます)
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます)

※ 監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。